

# 妥結か漂流か、 正念場のTPP交渉と 日本の対応

馬田 啓一 教授

日時: 11月13日(木) 午後12時50分～  
(入試説明会終了後)

場所: 八王子キャンパス・D棟4階 417教室

**\* どなたでも参加できます。【入場無料】**

難航するTPP（環太平洋パートナーシップ）交渉。関税撤廃、知的財産権、  
国有企業規律、環境など激しく対立する交渉分野の争点は何か。  
合意への道筋をどう付けるのか。アジア太平洋の新たな通商秩序を目指すTPP交渉  
の行方と、攻めと守りの日本のTPP戦略について解説する。

馬田 啓一 教授

1973年 慶應義塾大学経済学部卒業

1979年 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了

1984年 杏林大学社会科学部助教授

1992年 杏林大学社会科学部教授

1993年 杏林大学大学院国際協力研究科教授(現在に至る)

2002年 杏林大学総合政策学部教授(現在に至る)

現在、日本国際経済学会常任理事、日本経済学会連合評議員、世界経済研究協会理事、  
国際貿易投資研究所客員研究員、中央大学経済研究所客員研究員、  
東アジア共同体評議会有識者議員などを兼任。

問合せ先: 八王子キャンパスD棟大学院教務課

メール [kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp](mailto:kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp)

TEL 042-691-0011(代表)